



貫之集

坤

特別
イ 4
3163
45(2)



貫之集第五

徳

あゝぬらひ名野の山とて花人はまのまゝかたしん
つらき心腹のまゝかたしんもみりかたしん
世中まゝくさるるれ吹風乃あゝぬらひ人まゝかたしん
よゝの心若及くはれのをあゝぬらひ人まゝかたしん
あゝぬらひ心若及くはれのをあゝぬらひ人まゝかたしん
人まゝかたしん物と吹風乃たゝかたしん
あゝぬらひ心若及くはれのをあゝぬらひ人まゝかたしん
津のあゝぬらひ心若及くはれのをあゝぬらひ人まゝかたしん
人まゝかたしん物と吹風乃たゝかたしん

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style. There are several lines of text, with some words appearing to be "Dear", "I", "am", "writing", "to", "you", "because", "I", "am", "so", "glad", "to", "hear", "from", "you", "and", "I", "hope", "you", "are", "well".

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style. There are several lines of text, with some words appearing to be "Dear", "I", "am", "writing", "to", "you", "because", "I", "am", "so", "glad", "to", "hear", "from", "you", "and", "I", "hope", "you", "are", "well".

君ら方後を林よかへてお神も致さぬとて
 人の身に林や立く人の身はさうさうりりり
 林よかへてお神も致さぬとて
 とてさうさうさうさうさうさうさうさう
 林の節よりお神も致さぬとて
 わらわらわらわらわらわらわらわらわら
 林の節よりお神も致さぬとて
 あはれお神も致さぬとて
 るお神も致さぬとて
 人さうさうさうさうさうさうさうさう
 らお神も致さぬとて

わらわらわらわらわらわらわらわらわら
 るお神も致さぬとて
 人さうさうさうさうさうさうさうさう
 林の節よりお神も致さぬとて
 あはれお神も致さぬとて
 るお神も致さぬとて
 人さうさうさうさうさうさうさうさう
 らお神も致さぬとて
 君ら方後を林よかへてお神も致さぬとて
 人の身に林や立く人の身はさうさうりりり
 林よかへてお神も致さぬとて
 とてさうさうさうさうさうさうさうさう
 林の節よりお神も致さぬとて
 わらわらわらわらわらわらわらわらわら
 林の節よりお神も致さぬとて
 あはれお神も致さぬとて
 るお神も致さぬとて
 人さうさうさうさうさうさうさうさう
 らお神も致さぬとて

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

秋の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや

秋の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや

舟屋之集第六

延嘉十二年定方九帰し静れ暫れ舟乃時の舟

水屋よ秋の舟のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや

舟のさきや秋の舟のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや

舟のさきや秋の舟のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや
静の山は下葉のさきや

はる

うらなひのしるしをいふにむすぶるはむすぶる
かた

浪りよりにてくろくありて我々のしるしを
ちりり

たうらのしるしをいふにむすぶるはむすぶる
近世八年のしるしをいふにむすぶるはむすぶる

あまのしるしをいふにむすぶるはむすぶる
しるしをいふにむすぶるはむすぶる

しるしをいふにむすぶる

可きしるしのしるしをいふにむすぶるはむすぶる

つねにける中納言のしるしをいふにむすぶる

しるしをいふにむすぶる

みづのしるしのしるしをいふにむすぶるはむすぶる

宰相師補中将袖子のしるしをいふにむすぶる

しるしをいふにむすぶる

おしるしをいふにむすぶるはむすぶる

承平元年十二月のしるしをいふにむすぶる

しるしをいふにむすぶる

大原のしるしをいふにむすぶるはむすぶる

源公朝臣のしるしをいふにむすぶる

君とのしるしをいふにむすぶるはむすぶる

此の事も女給に書かすはなほなほして君にゆくは
友原乃の事なほに書かすはなほにゆくは
及ばぬいぢなほ

かたじけなくも書かすはなほにゆくは
急ぎ御長もの事なほにゆくは
久留みの事なほにゆくは
みちの事なほにゆくは

かたじけなくも書かすはなほにゆくは
おなじくの人なほにゆくは

おなじくの人なほにゆくは
おなじくの人なほにゆくは

かたじけなくも書かすはなほにゆくは
おなじくの人なほにゆくは

おなじくの人なほにゆくは
おなじくの人なほにゆくは

おなじくの人なほにゆくは
おなじくの人なほにゆくは

1. 諸君の御座るに當りては、
 2. 先づ御座るべきに當りては、
 3. 御座るべきに當りては、
 4. 御座るべきに當りては、
 5. 御座るべきに當りては、
 6. 御座るべきに當りては、
 7. 御座るべきに當りては、
 8. 御座るべきに當りては、
 9. 御座るべきに當りては、
 10. 御座るべきに當りては、

1. 諸君の御座るに當りては、
 2. 先づ御座るべきに當りては、
 3. 御座るべきに當りては、
 4. 御座るべきに當りては、
 5. 御座るべきに當りては、
 6. 御座るべきに當りては、
 7. 御座るべきに當りては、
 8. 御座るべきに當りては、
 9. 御座るべきに當りては、
 10. 御座るべきに當りては、

しんぶよわねなほくしりれちのんかきもなちゆ

七十八

ふ

昔々集第八

哀傷

あひきまゝの人らせらるるよめる

まことらひりりれ申にうらゝむおれおひんか

わらわらわらわらわらわらわらわらわら

おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、

君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

この大将と、
お返しに、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

さういふ一紙の書は、
君の御手紙を、
お返しに、
お返しに、

何ら交わらざるに水もあらずと云ふに可なりと云ふ

東言かくれぬものなりと云ふ

衆心一可く衆心一可くしと云ふに可なりと云ふ

君命を以てその言よはれぬと云ふに可なりと云ふ

延長八年九月京極中納言藤原朝臣

藤原朝臣

しと云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

と云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

と云ふに可なり

と云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

と云ふに可なり

何ら交わらざるに水もあらずと云ふに可なりと云ふ

衆心一可く衆心一可くしと云ふに可なりと云ふ

君命を以てその言よはれぬと云ふに可なりと云ふ

延長八年九月京極中納言藤原朝臣

藤原朝臣

しと云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

と云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

と云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

京極中納言藤原朝臣

藤原朝臣

しと云ふに可なりと云ふに可なりと云ふに可なり

延長八年九月十六日

かたよらしてまう夜にたけい夜もあつむゆる松のまひは
よさ—中酒言うか—よじてらら

かちあわ—こしらへられぬりあ—くはは
かち

世々集巻九

屏風乃志なる花とよめ家

たけその—あつら後らうりてせうまふははだしてあひる
よるのまきまかあて月あ—とあそ—といし
いと人ろたせたまふ

あふまされたあひりもいもいよらゆ日影そのとけらる
ね—かちとたけいあつら月あ—あひあきたるよ
よ—

かちまひるまのまふまひる月影いあひま—あひ
は—まふまのあひあひあひあひあひあひあひあひ
あふんのあひあひあひあひあひあひあひあひ

若^ち *~~~~~*
~~~~~

[□] *~~~~~*
~~~~~

[□] *~~~~~*
~~~~~

[□] *~~~~~*
~~~~~

^新 *~~~~~*
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

~~~~~
~~~~~

君の御心を御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

御座り候へば御座り候へば

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, appearing as a separate line or section.

Handwritten text in cursive script, continuing the flow.

Handwritten text in cursive script, including a small mark above the first line.

Handwritten text in cursive script, continuing the text.

Handwritten text in cursive script, continuing the text.

Handwritten text in cursive script, ending with a small mark above the first line.

「^口たまたま我々の間にこれ以後の事はないと
きよめられたるの事や申す所の人々我々の事
々々これ以後は言はずなりとる老の事やい
まに申す所の申す事やいふ事やいふ事
^後申す事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事

——

急捕細長

「^口いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
の事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事

「^口いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
の事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
れを——申す所の事やいふ事やいふ事やいふ事

いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事

「^口いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
の事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
たまたま我々の間にこれ以後の事はないと

いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事

——

「^口いふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
の事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事
かたまたま我々の間にこれ以後の事はないと

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

おたのしみなす

— 2 —

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous line.

Handwritten text in cursive script, including a small mark above the first line.

Handwritten text in cursive script, including a small mark above the first line.

Handwritten text in cursive script, including a small mark above the first line.

きし乃あそいのあまよふま

枯らぬ花は花のあまよふま

とあまよふ

たのしみは花のあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふ

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふ

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふのあまよふま

あまよふ

松露のりまはしなむらさきくまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

夕

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

世を人のりまのりまのりまのりまのりまのりまのりま

此日ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...
松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ... 松ノ行ハ...

二月廿七日 禮拜一 晴
春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

春海

